

# 「既存ブロック塀等の耐震診断に関する講習(WEB 講習)」のご案内

主催：一般財団法人日本建築防災協会

協力：国土交通省

2018年6月の大阪府北部を震源とする地震においてブロック塀等の倒壊により尊い命が失われたことを踏まえ、耐震改修促進法施行令等が改正され、2019年から、避難路沿道の一定規模以上のブロック塀等が耐震診断の義務付け対象に追加されました。本協会では、国土交通省、国土技術政策総合研究所及び建築研究所の協力の下、「既存ブロック塀等の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」(以下「同書」)を作成し、2018年12月以降、全国で講習を実施しました。

耐震診断の義務化は、地方公共団体の指定により適用されますが、2020年4月に東京都及び大阪府においてその指定がなされたことを踏まえ、本講習をWEBでの講習により追加開催することとしました。同書は、診断義務付け対象以外のブロック塀等の耐震診断・改修にも幅広く活用が可能な内容となっていますので、未受講の方は、ぜひこの機会にご受講いただきますようご案内いたします。

また、今年度はWEBでの講習のため職場や自宅でも受講できます。これまでの講習開催地が遠方で受講が難しかった方も、是非ご受講ください。

■同書に定める耐震診断基準は、平成18年国土交通省告示第184号別添で定められたブロック塀等の耐震診断の指針と同等以上の効力を有するものとして国土交通大臣により認定されています。

■本講習を修了した建築士\*及びブロック塀診断士((公社)日本エクステリア建設業協会の資格)は、平成25年国土交通省告示第1057号第三号に基づく国土交通大臣の認定により、診断を義務付けられたブロック塀等の耐震診断を行うことができます。

\* RC造又はSRC造耐震診断資格者である一級建築士又は二級建築士は、本講習の修了の有無にかかわらず診断義務付けブロック塀等の耐震診断を行うことができます。

■本講習は建築士継続能力開発(CPD)制度認定講座(予定)です。

■本講習は(一社)日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新のための評価点対象講習会(予定)です。

## 1. 講習・申込概要

**WEB受講：**インターネットを利用し、受講期間中に各自のコンピューター等で受講していただきます。

**受講期間：** 令和2年7月21日(火)～8月20日(木)

**申込期間：** 令和2年7月13日(月)～8月6日(木)

※申込者に、受講のため必要な手続きの方法をメールにより送付します(「9. 申込方法」参照)。

## 2. 視聴環境

**受講に必要な視聴環境は以下の通りです(申込前に必ずご確認ください)**

**通信環境：** YouTubeを標準画質で快適に視聴できること

**カメラ等：** WEBカメラ及びスピーカー\*付き(外付けでも可)のPC

※イヤフォンでも可

※視聴前に正しく機能しているかどうかを確認してください。

**OS：** Windows 8.1 または 10、Mac OS X (バージョン 10.0 以降推奨)

**ブラウザ：** Internet Explorer 11、Edge、Firefox、Google Chrome、Safari (最新版)

(参考) 通信環境等の具体的スペック等を確認できる場合は、下記を参考にしてください。

回線速度 下り：512kbps 以上、上り：256kbps 以上

CPU： Celeron1GHz 以上、CoreDuo1.66GHz 以上、これらと同等以上のCPU

## 3. プログラム(予定)

科目	講師
関連制度の解説 (15分)	国土交通省担当官
既存ブロック塀等の耐震診断基準 (70分)	ブロック塀等の耐震診断基準作成委員会 委員
既存ブロック塀等の耐震改修設計指針 (90分)	

4. **受講対象者** どなたでもご受講できます。

5. **受講修了証の交付対象** 一級建築士、二級建築士、木造建築士及びブロック塀診断士

6. **受講料(テキスト代別)** 6,000円(税込)

## 7. テキスト及びテキスト代 既存ブロック塀等の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説

発行：(一財)日本建築防災協会

2,970円(税込)

## 8. 後援

日本建築行政会議、(一社)日本建築学会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一社)日本建築構造技術者協会、(一社)日本建設業連合会、(公社)日本建築家協会、(一社)全国建設業協会、(公社)日本エクステリア建設業協会、(一社)住宅生産団体連合会、全国建設労働組合総連合、(一社)住宅リフォーム推進協議会、(一社)全国建築コンクリートブロック工業会、(一社)日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター、既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会

## 9. 申込方法

「2」の視聴環境の確認を行った上で、本協会ホームページへアクセスしてください。

(講習・検定 <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/>)

### ○ 本講習の選択

講習・検定画面 ⇒ 既存ブロック塀等の耐震診断に関する講習 ⇒ 個人情報保護規定に同意し、講習を申し込む をクリック。

(※過去にID、パスワードを登録された方は、それでログインすれば①の入力が省略できます。)

### ① 基本情報の登録・写真データ添付他

氏名、生年月日等の基本情報を入力してください。

※メールアドレスは、受講票送付時に利用しますので、受取可能なパソコンのアドレスを入力してください。

・『A—受講修了証を希望する一級建築士、二級建築士、木造建築士及びブロック塀診断士 (以下『A』という。)]で受講の方は、縦4.5cm×横3.5cm程度、脱帽、カラー・白黒可、上半身が写った証明写真用のJPG形式データの添付が必須です。

・『A以外の方(以下『B』という。)]は、証明写真用のデータ添付は不要です。

### ② 建築士番号等の入力他

・『A』の方は、建築士番号またはブロック塀診断士登録番号の入力が必須です。

・『B』の方は、未入力でも結構です(建築士会CPD単位付与を希望する場合は建築士番号の記入が必要です)。

### ③ テキストの要否の選択

・テキストの要否の選択をしてください。

### ④ 必要書類のデータ添付他

PDFまたはJPG形式にて以下の書類の写しを添付してください。

・『A』で建築士の方：

(1) 『建築士免許証』または『建築士免許証明書』

(2) 『本人確認書類』※

・『A』でブロック塀診断士の方：

(1) 『登録証』

(2) 『本人確認書類』※

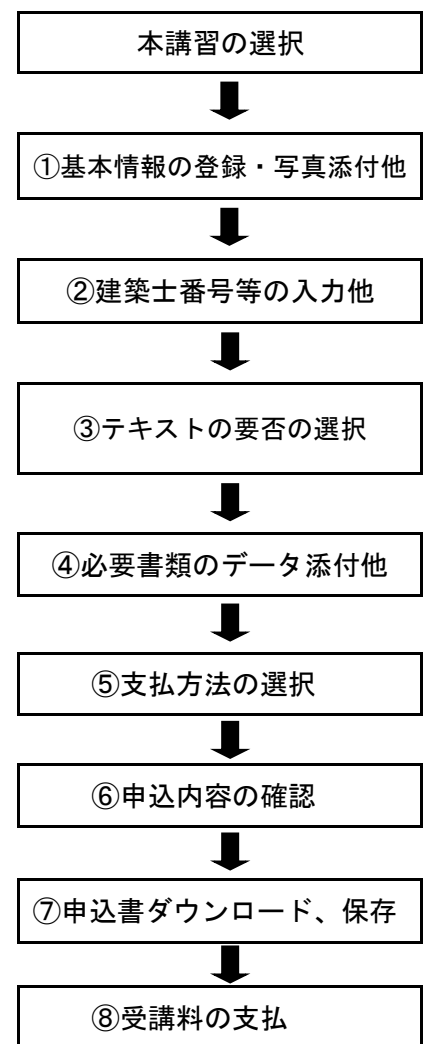
※『本人確認書類』は以下のいずれかの書類です。

1. 運転免許証 2. 本国パスポート 3. 住民基本台帳(顔写真有) 4. マイナンバーカード(ナンバーは隠す)

5. 外国人登録証明書

6. 健康保険証 (6.の場合、6-1.住民票 6-2 外国人登録票記載事項証明書(発行後、3カ

### 申込み手順について



月以内かつ現住所記載のもの)が更に必要です。)

・『B』の方：データ添付は不要です。

## ⑤ 支払方法の選択

受講料の支払い方法を選択してください。

支払方法は、「コンビニ払い」又は「Pay-easy 払い」になります。※振込手数料は不要です。

## ⑥ 申込内容の確認

表示された申込み内容を確認の上、記載内容が事実かつ正確である旨、また、『A』の方は日本建築防災協会が資格確認をすることに承諾する旨、**確認欄にチェック**を入れ、**上記内容で申込み**をクリックしてください。

※今後、本協会の他の「講習」を申込される場合は、「基本情報の登録」にチェックを入れるとIDとパスワードが発行されます。次回以降のお申し込み時には、発行されるIDとパスワードでログインすれば①の基本情報入力を省略できます。

## ⑦ 受講申込書をダウンロード、保存

Web画面「5. 受講申込み受付内容確認」ページの最下の**受講申込書をダウンロードする**をクリックし、申込内容を確認し、保存してください。

## ⑧ 受講料の支払 ⑤で選択した支払方法にてお支払いください。

- ※1：インターネットでお申込完了後、「kadmin@kenbokyo.jp」のアドレスより「受講申込受付完了のお知らせ」と「system@p01.mul-pay.com」のアドレスより「決済依頼完了のお知らせ」のメールが届きますので、なるべく早くお振込ください。
- ※2：システム上、請求書での対応は行っておりませんのでご了承ください。
- ※3：入金確認後、「fu\_ji@kenchiku-bosai.or.jp」より視聴ページのURLと初回ログイン用のID・PWを送付いたします。
- ※4：迷惑メール対策等を行っている場合には、※1と※3記載のアドレスからのメール受信が可能な設定に変更してください。

10. **テキストの送付** テキストを申し込まれた方には、入金確認後にテキストを送付いたします。

## 11. 視聴方法

### ① 初回ログイン

ご入金確認後、メールにより視聴ページのURL、ID・PWを送付しますので、初回ログインを行ってください。

その際に、パスワードの設定と、ご本人の顔写真のカメラによる撮影と登録をしていただきます。

- ※1：カメラへのアクセスを求めてきますので、許可をしてください。一度カメラのアクセスを拒否してしまった場合は、再度URLにアクセスするのではなく、ブラウザの設定画面から「アクセスを許可する」を選択して頂く必要があります。
- ※2：この時に撮影した顔写真により、動画視聴時の本人確認を行いますので、サングラス、レンズの色の濃い眼鏡、マスク及び前髪などが目を隠すなど、顔が確認しにくくならないようお願いいたします。
- ※3：申込区分『B』の方も、顔写真の撮影・登録をお願いいたします。

### ② 受講

パスワードの設定をしていただいた後に「受講のご案内」をメールにより送付いたします。

記載されたURLにアクセスして、ログインID(①と同じ)、パスワード(初回ログイン時に設定)によりログインしてください。

視聴したい科目を選択して視聴してください。

各科目をご本人が視聴されているかの確認をおこないます。「12. 本人確認について」参照

※視聴前にカメラへのアクセスを求めてきますので、許可をしてください。キャンセルの場合は先に進めません。

※1：どの科目より視聴しても問題ありません。

※2：途中で視聴を停止した場合は、次回アクセス時には、前回停止した箇所からの視聴となります。

※3：同じ科目を何回も視聴していただくことができます。また、巻き戻しての視聴もできます。

## 12. 本人確認について

初回ログイン時に撮影・登録されたご本人の顔写真と、それぞれの科目の動画視聴時（視聴の開始時と終了時）の顔写真との照合により、本人確認を行います。すべての科目をご本人が視聴したと確認したことをもって受講修了したとみなされます。

※この確認（初回ログイン時、視聴開始・終了時の顔写真撮影）は、WEB講習システムの機能により、申込区分『B』の方を含むすべての受講者を対象に行われます。

※申込区分『A』の方については、申込時にお送りいただいた顔写真との照合を行う場合があります。

## 13. 受講修了証の交付

申込区分『A』で受講し、全科目を受講修了された方には、後日、受講修了証を簡易書留にて発送します。（講習終了後、1ヶ月程度となります。）

※各講習科目を視聴しなかった場合は、受講修了証は発行出来ません。また、申込時に入力していただいた資格等の確認ができなかった場合も受講修了証は発行出来ません。これらの場合、受講料の返金は出来ません。

**講習実施に関するお問合せ先**      **（一財）日本建築防災協会 普及事業部（TEL：03-5512-6451）**